

臨床研究部だより 2023 年 5 月

「臨床研究の歩みだし」

沖縄病院の新人の皆様、そして職員の皆様へ。新年度が始まり 1 カ月、ゴールデンウィークも終わり これからが本格的な仕事の始まりです。なれない業務に疑問や、不安もあるかと思いますが、その前にお得な情報、沖縄病院臨床研究部の紹介です。

病院のなかでは特殊な業務で職員は 2 名だけですが、多くの職員の協力のもと楽しく仕事をさせていただいております。研究なんて・・・ 難しく、とつきにくいと感じる方もいらっしゃるでしょうか？ 臨床研究の源泉は各自の臨床の場での疑問、クリニカルクエスチョンを明らかにしたいという気持ちです。どなたでも思うことではないでしょうか？ 臨床研究部では研究課題のサポートと、適切に研究が行われるか審査を行います。実務では治験および倫理審査委員会を毎月および臨時的に開催し研究課題を審査しております。毎週、新規課題や継続課題審査を行い、教科書の 1 行を変えるエビデンスの創出から、日々の業務の改善に関わる成果を創り上げていきます。審査には院内外の医療従事者のほか、医療に関係のない委員も含まれます。新たな医療の分野だけに我々医療者でも、とくに専門外の委員には難しいと思われる内容もありますが、審査で留意していることは（医学系研究指針などの見出しに書かれた項目、つまり）社会的に意義のある研究か、科学的に合理性は確保されているか、そして研究対象者の保護、負担やリスクそして利益が適正に考慮されているかを評価します。大切にしていることは各委員の良心で、独立かつ公正な立場に立った委員会であるよう努めております。過去の研究の積み重ねが今の医療の礎となり、今の研究課題は未来の医療の礎となる。医療はその繰り返りで、臨床研究は未来を創る仕事です。

新人の皆様、これから医療人としての始まりです。業務の不安や疑問はそのまま流すことなく、疑問点を明確にし、わからないことはまず自ら調べ、同僚・上司に遠慮なく尋ねてください。実はそれでも答えのない疑問や課題はたくさんあります。わからないことを主体的に答えを探す活動、それが臨床研究の原点です。疑問の解決策が見いだせた時、仕事に奥行きが生まれ、楽しくなります。臨床研究部ではその活動をサポートします。患者さんのため、ご自身のため、日々の疑問点はメモ、ノートに記録することをお勧めします。

それでは、みなさまが明るい未来に向かって歩み出せるよう祈念いたします。

～ よりそう探求心 臨床研究部 ～ 河崎英範